

PRESS RELEASE

2016年7月25日

株式会社 再生医療推進機構
IMSグループ 株式会社アイル

歯髄細胞ストック、日本人の70%に適合する細胞確保

～ IMS(イムス)グループとの連携で実用化加速 ～

株式会社再生医療推進機構（東京都中央区、代表取締役 大友宏一）は、日本人の約7割が利用できる歯髄細胞ストックを確保しました。そしてさらに再生医療の実用化の加速を目的として、板橋中央総合病院を中核とするIMSグループの関連会社である株式会社アイル（東京都板橋区、代表取締役 山崎徹也）との連携強化を図り、2018年までに9割をカバーしていく歯髄細胞ストック活動を開始しました。

ヒトの乳歯や親知らずといった、従来は廃棄されていた脱落乳歯や抜去歯から容易に採取可能な歯髄細胞は、脳梗塞などの中枢神経疾患や小児難病、肝再生や腎再生などの再生医療に利用できる幹細胞として有望視されています。

当社とアイルが連携し、2012年から開始した他家移植向けの細胞材料を収集・備蓄する「歯髄細胞ストック」は、数千人からご提供頂いた抜去歯から再生医療の移植適合性を示すHLA-A、Bの2座ハプロタイプホモを検索した結果、日本人の約7割（国民約8,400万人分に相当）をカバーする細胞を確保しました。（HLA-DRを含めた3座一致のカバー率は約4割）

今後のさらなる人口カバー率向上およびIMSグループでの再生医療導入を見据え、来月からIMSグループが運営する約50施設の医療介護施設職員約2万人に対して「抜去歯の提供」のボランティアを呼びかけ、2018年までに人口カバー率9割達成を目指します。

【語句説明】

歯髄細胞

神経由来の幹細胞を含む細胞です。歯という硬組織に保護されているため紫外線などの外部刺激を受けにくく、増殖力が極めて高いことが特徴です。

他家移植

再生医療（細胞治療）において、他人の細胞を移植することを他家移植と言います。一方、自分の細胞を利用する場合は自家移植と言います

H L A (ヒト白血球抗: Human Leukocyte Antigen)

輸血はA B O型を一致させるように、再生医療(細胞移植)はH L A型が一致した方が移植成績が良いことが知られてます。通常の臓器移植はH L A-A、B、D Rの3座を適合させますが、歯髄幹細胞を含む間葉系幹細胞ではH L A-AとBの2座が免疫拒絶反応に大きく関与しており、H L A-D Rの関与は極めて低いとされています。

法人概要

株式会社 再生医療推進機構	法人名	株式会社 アイル
東京都中央区銀座 1-24-3	本社(本部)	東京都板橋区小豆沢 2-20-10
山梨県笛吹市(特定細胞加工施設:厚労省認可 FA3150010)	研究所	東京都板橋区(特定細胞加工施設:厚労省認可 FA3150012)
2008年10月	設立日	1984年3月
3億5,938万円(準備金含む)	資本金	3,000万円
大友 宏一	代表者	山崎 徹也
歯髄細胞保管事業 再生医療関連技術開発等	事業内容	臨床検査受託等 臍帯血保管事業
http://www.acte-group.com/	ホームページ	http://www.eil.jp/

【再生医療推進機構の事業概要】

全国約1,500施設の歯科医療施設と連携し、国内初となる歯髄細胞保管事業を運営する一方で、九州大学や岐阜大学などの研究機関や製薬企業との共同開発により、備蓄した細胞を用いた再生医療関連技術の開発に取り組んでいます。

<お問い合わせ先>



株式会社 再生医療推進機構

東京都中央区銀座 1-24-3 TEL: 03-6228-7830 FAX: 03-6228-7831

担当: 取締役管理本部長 紅林伸也 kurebayashi@acte-group.com